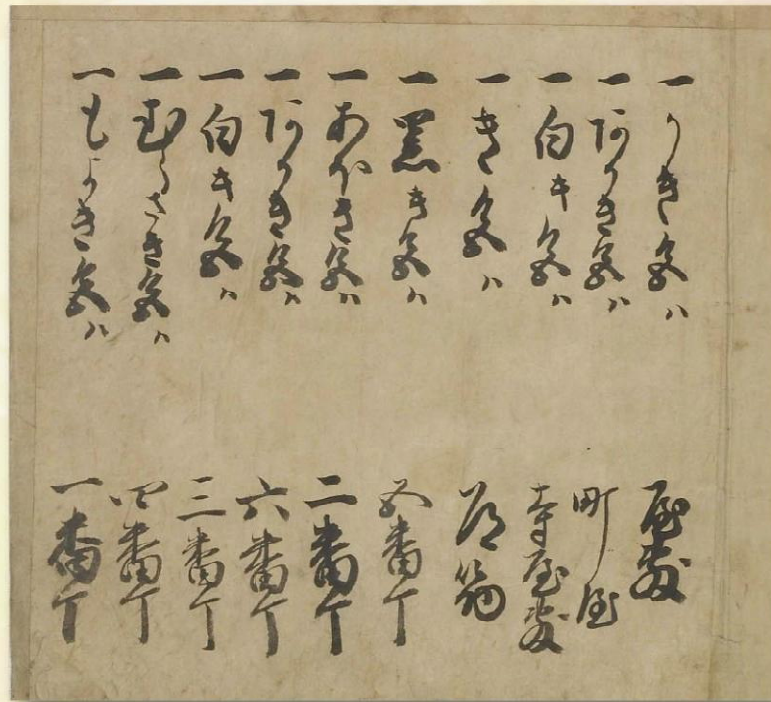


(明暦) 江戸大絵図



凡例 (整理番号：C601-17) 公益財団法人三井文庫所蔵

新町三井家が昭和 7 年（1932）に購入し、現在は公益財団法人 三井文庫に所蔵されています。南北方向 290 cm、東西方向 198 cm の大型江戸図です。

近年の研究によれば、本図は紀州徳川家で作成された図で、元々明暦大火以前に製作された図に、大火後の変化の情報を書き加えた物と推定されています。記入された武家屋敷の情報等から、本図の景観年代は大火から9ヶ月後にあたる明暦3年（1657）10月中旬から、明暦4年2月中旬までとされ、その意味では明暦大火前後の都市改造の様相を読み取ることができる貴重な絵図といえることができます。

上に掲げた凡例には、「屋敷：柿色、町屋：赤き色、寺屋敷：白き色、道筋：黄色」という絵図上の色の区別と、旗本屋敷が集中していた番町一番地から六番地の区分けに関する色の区別が記されています。